

3月2日～3月7日 商品検査実績

●微生物検査 226 検体

検査の結果特に問題はありませんでした。

●理化学検査 75 検体

食品添加物検査	30 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。	
残留農薬検査	外部検査機関に 6 検体依頼しました。検査の結果問題ありませんでした。	
簡易農薬検査	10 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。	
PCR検査	畜種判別検査	今週は実施しておりません。
	GMO検査	今週は実施しておりません。
	米のDNA異種米判定	今週は実施しておりません。
	コシヒカリ品種判定	今週は実施しておりません。
米鮮度判定	1 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。	
卵鮮度判定	今週は実施しておりません。	
アレルギー検査	今週は実施しておりません。	
ヒスタミン検査	10 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。	
アフラトキシン(カビ毒)	今週は実施しておりません。	
放射性物質検査(スペクトロメータ※)	18 検体(米 1 検体、牛乳 2 検体、野菜 6 検体、果物 4 検体、水産 1 検体、加工食品 4 検体)実施しました。全て検出下限値(約 20Bq/kg)以下となりました。	

※NaI シンチレーションスペクトロメータしんちたい：遮蔽体付検査機器で核種を特定できるもの：ヨウ素 131、セシウム 134、セシウム 137 を測定

品質保証室で実施している商品検査についてお知らせします

・たまごの鮮度判定検査

たまごの鮮度判定は、1937年にアメリカのH a u g h氏が提唱した、たまごの重さと平板に割卵した時の濃厚卵白の高さから求めたハウユニットという数値で確認しています。毎月奈良県内の産直たまごの全生産者のたまごと、伊賀の白たまごを検体としてそれぞれ 10 検体を検査しています。

